

2011年11月2日

2012年3月期第2四半期決算の概要

東レ株式会社



目次

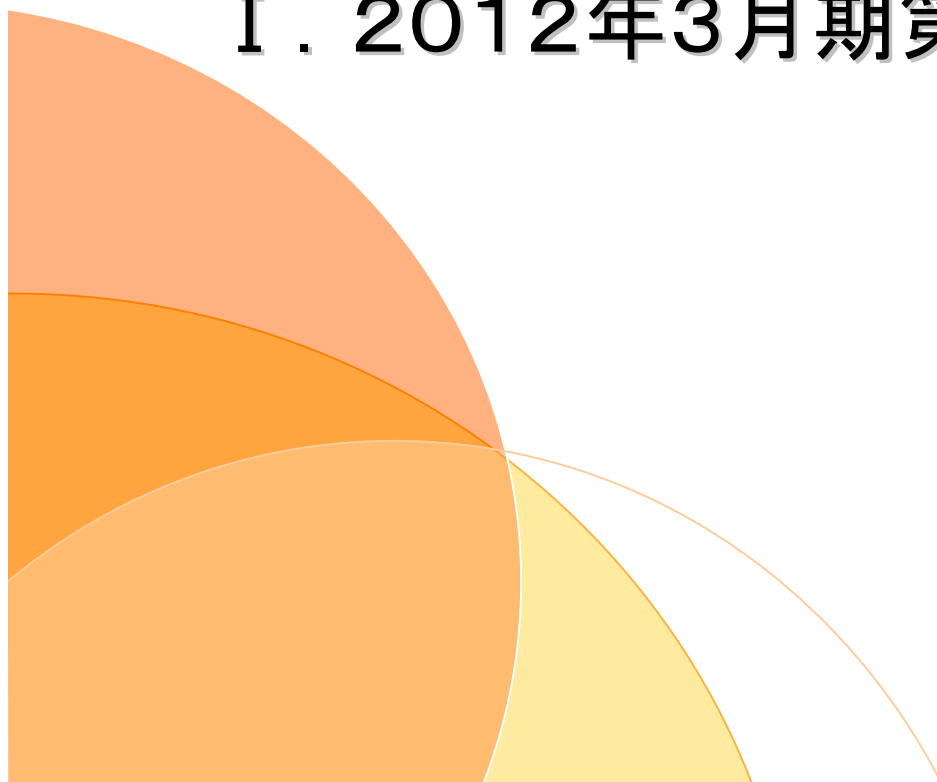
I. 2012年3月期第2四半期決算の概要

2012年3月期第2四半期連結損益概要	(P3)
営業外収支	(P4)
特別損益	(P5)
資産・負債・純資産、フリー・キャッシュ・フロー	(P6)
設備投資額・減価償却費・研究開発費	(P7)
セグメント別売上高・営業利益	(P8)
セグメント別業績	(P9-16)
営業利益増減要因分析(第2四半期累計期間)	(P17)
主要子会社収益状況(第2四半期累計期間)	(P18)
セグメント別営業利益 1Qvs2Q比較	(P19)
セグメント別上期営業利益 前回見通しvs実績比較	(P20)

II. 2012年3月期連結業績見通し

2012年3月期連結業績見通し	(P22)
セグメント別業績見通し	(P23)
セグメント別営業利益の前回見通しとの差異	(P24)
設備投資額・減価償却費・研究開発費見通し	(P25)

I . 2012年3月期第2四半期決算の概要



2012年3月期第2四半期連結損益概要

億円

	11年3月期 第2四半期 (7~9月)	12年3月期 第2四半期 (7~9月)	増減	11年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	12年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減
売上高	3,830	4,250	+419 (+10.9%)	7,334	7,998	+664 (+9.1%)
売上原価	3,040	3,332	+292 (+9.6%)	5,869	6,280	+411 (+7.0%)
売上総利益	791	918	+127 (+16.1%)	1,465	1,718	+253 (+17.3%)
(売上高総利益率)	20.6%	21.6%	+1.0 ポイント	20.0%	21.5%	+1.5 ポイント
販売費及び 一般管理費	527	556	+29 (+5.4%)	1,040	1,084	+44 (+4.3%)
(売上高販管費比率)	13.8%	13.1%	-0.7 ポイント	14.2%	13.6%	-0.6 ポイント
営業利益	263	362	+98 (+37.4%)	425	634	+209 (+49.1%)
(売上高営業利益率)	6.9%	8.5%	+1.6 ポイント	5.8%	7.9%	+2.1 ポイント
営業外収支	▲ 4	3	+7	▲ 21	21	+41
経常利益	259	364	+105 (+40.5%)	405	655	+250 (+61.9%)
特別損益	▲ 12	▲ 24	-11	▲ 45	▲ 31	+14
税前利益	247	341	+94 (+38.0%)	359	624	+265 (+73.7%)
四半期純利益	163	223	+61 (+37.2%)	249	401	+152 (+60.9%)

	(11/3 2Q)	→	(12/3 2Q)	(11/3 2Q累計)	→	(12/3 2Q累計)
為替レート <円/US\$> 期中平均	85.9	→	77.9	89.0	→	79.8
期末	83.8	→	76.7			
<円/ユーロ> 期中平均	110.7	→	110.2	113.8	→	113.8
期末	114.2	→	104.1			
原油価格 <US\$/バレル> (DUBAI FOB) 期中平均	73.9	→	107.1	76.0	→	108.9

(注)3月期決算会社は7~9月の業績、12月期決算会社は4~6月の業績を連結

営業外収支

億円

	11年3月期 第2四半期 (7~9月)	12年3月期 第2四半期 (7~9月)	増減	11年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	12年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減
営業外収益	30	32	+2	78	77	-2
受取利息及び配当金	2	3	+1	14	17	+3
持分法による投資利益	20	18	-2	42	36	-5
雑収入	7	11	+3	23	24	+1
営業外費用	▲ 34	▲ 29	+5	▲ 99	▲ 56	+43
支払利息	▲ 17	▲ 14	+2	▲ 34	▲ 28	+6
雑損失	▲ 17	▲ 15	+3	▲ 65	▲ 27	+37
営業外収支	▲ 4	3	+7	▲ 21	21	+41
金融収支	▲ 14	▲ 11	+3	▲ 20	▲ 12	+8

注) 収益はプラス、費用はマイナス(▲)で表示

特別損益

億円

	11年3月期 第2四半期 (7~9月)	12年3月期 第2四半期 (7~9月)	増減	11年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	12年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減
特別利益	3	1	-2	19	1	-18
有形固定資産売却益	3	0	-2	3	1	-2
投資有価証券売却益	-	0	+0	16	0	-15
特別損失	▲ 15	▲ 24	-9	▲ 64	▲ 32	+32
有形固定資産処分損	▲ 11	▲ 11	-0	▲ 17	▲ 14	+3
投資有価証券評価損	▲ 2	▲ 12	-10	▲ 30	▲ 13	+18
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	-	-	▲ 14	-	+14
その他	▲ 2	▲ 1	+1	▲ 2	▲ 5	-3
ネット特別損益	▲ 12	▲ 24	-11	▲ 45	▲ 31	+14

注) 収益はプラス、費用はマイナス(▲)で表示

資産・負債・純資産、フリー・キャッシュ・フロー

億円

	11年3月末	11年9月末	増減
資産合計	15,675	16,015	+340
流動資産	7,241	7,732	+492
有形固定資産	5,316	5,315	-1
無形固定資産	93	96	+3
投資その他	3,025	2,872	-153

	11年3月末	11年9月末	増減
負債合計	9,265	9,337	+72
流動負債	5,030	5,179	+150
固定負債	4,235	4,158	-77
純資産合計	6,410	6,678	+268

有利子負債残高	4,935	5,145	+210
---------	-------	-------	------

D/Eレシオ	0.83	0.83	+0.00
--------	------	------	-------

<フリー・キャッシュ・フローの状況> 億円

	11年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	12年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減
営業活動	312	255	-57
投資活動	▲197	▲347	-150
フリー・キャッシュ・フロー	114	▲92	-207

設備投資額・減価償却費・研究開発費

億円

	11年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	12年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減	特記事項
設備投資額	202	282	+80	東レ:94、国内:49、海外:139
減価償却費 ー)	344	327	-16	東レ:164、国内:42、海外:121
振替・除却等	▲ 231	44	+275	
有形固定資産増減	▲ 373	▲ 1		
研究開発費	230	246	+17	

主な設備投資:

<東レ> 炭素繊維設備

<海外> TAK (Toray Advanced Materials Korea Inc.)
:光学用ポリエステル(PET)フィルム設備(韓国)

セグメント別売上高・営業利益

億円

	売上高			営業利益		
	11年3月期 第2四半期 (7~9月)	12年3月期 第2四半期 (7~9月)	増減	11年3月期 第2四半期 (7~9月)	12年3月期 第2四半期 (7~9月)	増減
繊維	1,456	1,652	+197 (+13.5%)	78	126	+48 (+62.3%)
プラスチック・ケミカル	924	1,035	+111 (+12.0%)	66	78	+12 (+18.2%)
情報通信材料・機器	726	658	-68 (-9.4%)	130	103	-27 (-21.0%)
炭素繊維複合材料	162	173	+11 (+7.0%)	13	23	+10 (+73.4%)
環境・エンジニアリング	389	551	+163 (+41.8%)	▲ 8	56	+64 (-)
ライセンス	137	144	+7 (+4.9%)	22	23	+2 (+6.9%)
その他	37	36	-1 (-2.7%)	3	4	+0 (+15.4%)
計	3,830	4,250	+419 (+10.9%)	303	412	+108 (+35.8%)
調整額				▲ 40	▲ 50	-10
連結	3,830	4,250	+419 (+10.9%)	263	362	+98 (+37.4%)

	売上高			営業利益		
	11年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	12年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減	11年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	12年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減
繊維	2,731	3,075	+344 (+12.6%)	136	227	+92 (+67.8%)
プラスチック・ケミカル	1,865	2,065	+199 (+10.7%)	121	164	+43 (+35.9%)
情報通信材料・機器	1,362	1,300	-61 (-4.5%)	213	197	-16 (-7.3%)
炭素繊維複合材料	319	363	+45 (+14.0%)	12	50	+38 (+305.8%)
環境・エンジニアリング	735	853	+118 (+16.1%)	▲ 15	42	+57 (-)
ライセンス	255	275	+20 (+7.8%)	33	42	+9 (+27.3%)
その他	68	67	-1 (-1.4%)	4	5	+1 (+15.2%)
計	7,334	7,998	+664 (+9.1%)	504	728	+225 (+44.6%)
調整額				▲ 78	▲ 94	-16
連結	7,334	7,998	+664 (+9.1%)	425	634	+209 (+49.1%)

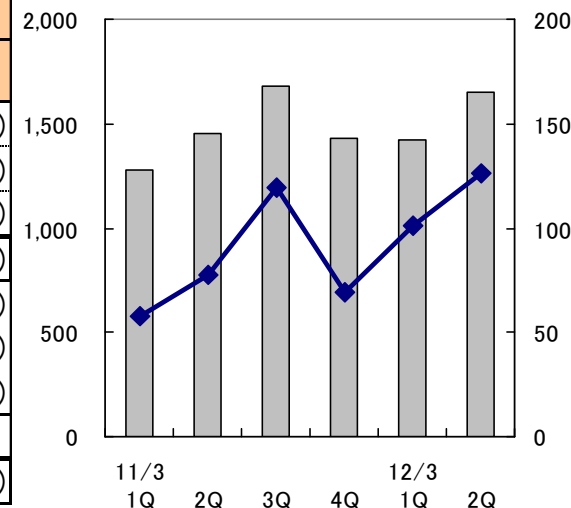
セグメント別業績(繊維)

売上高
＜棒グラフ＞

営業利益
＜線グラフ＞
(億円)

単位: 億円

		2Q(7~9月)				2Q累計(4~9月)			
		11年 3月期	12年 3月期	増減		11年 3月期	12年 3月期	増減	
売上高	東レ	258	270	+13	(+4.9%)	502	532	+30	(+6.0%)
	国内	727	836	+109	(+15.0%)	1,346	1,504	+158	(+11.7%)
	海外	471	546	+75	(+15.9%)	882	1,039	+156	(+17.7%)
	計	1,456	1,652	+197	(+13.5%)	2,731	3,075	+344	(+12.6%)
営業利益	東レ	22	32	+10	(+43.6%)	48	66	+18	(+38.8%)
	国内	17	31	+15	(+87.5%)	28	50	+22	(+77.0%)
	海外	42	70	+28	(+67.1%)	69	131	+62	(+89.1%)
	修正	▲ 3	▲ 8	-4		▲ 9	▲ 19	-10	
	計	78	126	+48	(+62.3%)	136	227	+92	(+67.8%)



2Q(7~9月)

増収増益

東レ : 衣料用途は、機能性インナー用途が堅調に推移。産業用途は、震災の影響を受けた自動車メーカーの稼働回復に伴い、エアバッグ向け等の自動車関連用途の販売が復調するとともに、一般資材用途も堅調。

国内子会社 : 大手SPA向け等縫製品事業が拡大。

海外子会社 : 中国の縫製品事業や衣料用織物事業が堅調に推移するとともに、今年3月から増設設備が稼働を開始した紙おむつ向けPP不織布事業が販売量を拡大。また、各事業が高付加価値品へのシフトを進めた。

2Q累計 (4~9月)

増収増益

国内では、衣料用途は機能性インナーウェア用途などが堅調に推移し、大手SPA向け等の縫製品事業も拡大。産業用途では、震災の影響を受けた自動車メーカーの稼働回復に伴い、自動車関連用途への販売が復調。海外では、アセアンのポリエステル長繊維・短繊維事業、中国やアセアンの衣料用織物事業、タイやチェコのエアバッグ用基布事業等の各事業が、拡販や高付加価値品へのシフトを進めた結果、衣料用途・産業用途とも総じて堅調に推移。

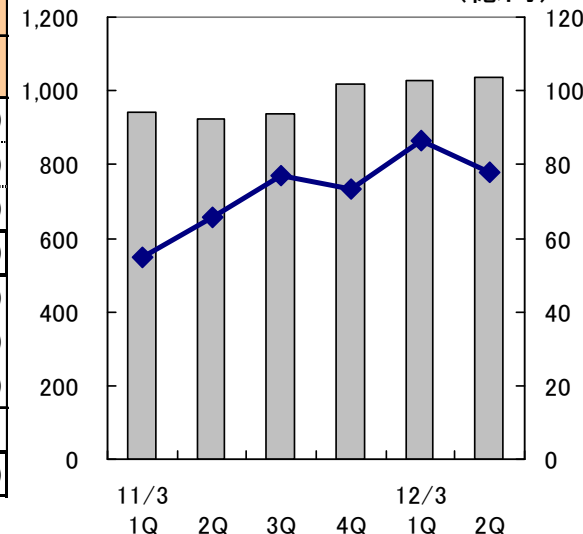
セグメント別業績(プラスチック・ケミカル)

単位: 億円

		2Q(7~9月)				2Q累計(4~9月)			
		11年 3月期	12年 3月期	増減		11年 3月期	12年 3月期	増減	
売上高	東レ	172	208	+35	(+20.6%)	354	391	+38	(+10.7%)
	国内	320	369	+49	(+15.3%)	680	743	+63	(+9.3%)
	海外	431	458	+27	(+6.2%)	832	930	+98	(+11.8%)
	計	924	1,035	+111	(+12.0%)	1,865	2,065	+199	(+10.7%)
営業利益	東レ	12	11	-1	(-6.7%)	25	22	-3	(-12.0%)
	国内	18	24	+6	(+33.6%)	40	54	+14	(+33.9%)
	海外	35	40	+5	(+14.3%)	56	87	+31	(+55.2%)
	修正	1	2	+2		▲ 1	1	+2	
	計	66	78	+12	(+18.2%)	121	164	+43	(+35.9%)

売上高
＜棒グラフ＞

営業利益
＜線グラフ＞
(億円)



2Q(7~9月) 増収増益

東レ : 樹脂事業は、震災からの復旧に伴い、自動車関連用途への販売量が7月以降は回復。フィルム事業では、太陽電池バックシート用途をはじめとした工業材料用途が堅調に推移。

国内子会社 : フィルム子会社が包装材料用途や太陽電池用バックシートの販売量を拡大。

海外子会社 : フィルム子会社が高付加価値品へのシフトを推進。マレーシアの樹脂子会社は中国市場の低迷の影響を受け、販売量が減少。

2Q累計 (4~9月)

増収増益

国内では、樹脂事業を中心に、震災からの復旧に伴い、自動車関連用途への販売量が7月以降は回復。フィルム事業では、工業材料用途や包装材料用途が総じて堅調に推移。海外では、ポリエステルフィルム事業やポリプロピレンフィルム事業が米国、欧州、アジアでの拡販を推進。

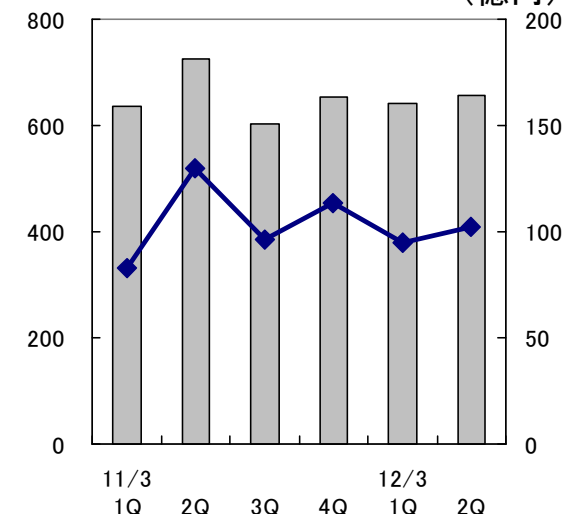
セグメント別業績(情報通信材料・機器)

単位: 億円

		2Q(7~9月)			2Q累計(4~9月)			
		11年 3月期	12年 3月期	増減	11年 3月期	12年 3月期	増減	
売上高	東レ	297	276	-22 (-7.3%)	569	551	-18 (-3.2%)	
	国内	222	187	-35 (-15.9%)	405	375	-31 (-7.5%)	
	海外	206	195	-11 (-5.4%)	387	375	-12 (-3.2%)	
	計	726	658	-68 (-9.4%)	1,362	1,300	-61 (-4.5%)	
営業利益	東レ	81	70	-11 (-13.4%)	134	131	-3 (-2.3%)	
	国内	17	8	-9 (-54.1%)	28	20	-8 (-29.3%)	
	海外	31	25	-6 (-19.6%)	50	47	-3 (-5.2%)	
	修正	0	▲ 1	-1	1	▲ 1	-2	
	計	130	103	-27 (-21.0%)	213	197	-16 (-7.3%)	

売上高
＜棒グラフ＞

営業利益
＜線グラフ＞
(億円)



2Q(7~9月)

減収減益

- 東レ** : スマートフォン用等の中・小型ディスプレイ関連部材の出荷は堅調に推移し、半導体関連材料も数量を伸ばした。一方、FPD関連製品は全般的にパネルの生産調整の影響を受けた。
- 国内子会社** : フィルム加工子会社やファインケミカル子会社では、FPD関連材料の販売が減少。
- 海外子会社** : 韓国では、フィルム及びフィルム加工品関連子会社及び回路材料関連子会社が液晶パネルメーカーの生産調整の影響を受けた。

2Q累計
(4~9月)

減収減益

スマートフォン用等の中・小型ディスプレイ関連部材が堅調に推移したが、テレビ市場の低迷によるパネル生産調整の影響等から、フィルム及びフィルム加工品をはじめ液晶及びPDPテレビ関連製品は低調に推移。

情報通信材料・機器セグメントの売上高の詳細

【サブセグメント別売上高推移】

単位：億円

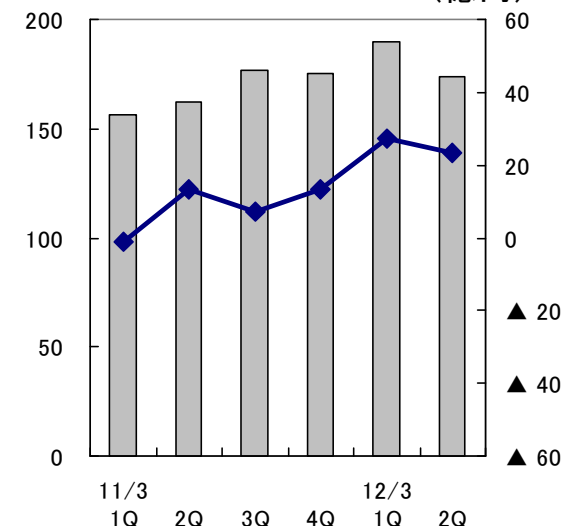
	1 1 / 3 期第 2 四半期 (7 ~ 9 月)		1 2 / 3 期第 2 四半期 (7 ~ 9 月)		
	売上高	比率	売上高	比率	増減率
ディスプレイ材料	304	42%	248	38%	-18%
電子部品・半導体・回路材料	254	35%	235	36%	-7%
記録材料	84	12%	84	13%	-0%
機器他	84	12%	90	14%	+8%
情報通信材料・機器セグメント合計	726		658		-9%

	1 1 / 3 期第 2 四半期累計 (4 ~ 9 月)		1 2 / 3 期第 2 四半期累計 (4 ~ 9 月)		
	売上高	比率	売上高	比率	増減率
ディスプレイ材料	565	41%	505	39%	-11%
電子部品・半導体・回路材料	488	36%	459	35%	-6%
記録材料	166	12%	165	13%	-0%
機器他	144	11%	172	13%	+19%
情報通信材料・機器セグメント合計	1,362		1,300		-4%

セグメント別業績(炭素繊維複合材料)

売上高 <棒グラフ> 営業利益 <線グラフ>
(億円) 単位: 億円

		2Q(7~9月)			2Q累計(4~9月)			
		11年 3月期	12年 3月期	増減	11年 3月期	12年 3月期	増減	
売上高	東レ	128	147	+19 (+14.7%)	249	287	+37 (+15.0%)	
	国内	95	107	+12 (+13.1%)	178	216	+37 (+21.1%)	
	海外	119	137	+18 (+15.1%)	231	280	+49 (+21.3%)	
	修正	▲ 179	▲ 217	-38	▲ 339	▲ 419	-80	
	計	162	173	+11 (+7.0%)	319	363	+45 (+14.0%)	
営業利益	東レ	14	14	-0 (-0.9%)	16	28	+12 (+70.5%)	
	国内	1	1	+0 (+10.3%)	2	2	+0 (+15.7%)	
	海外	2	11	+10 (+634.7%)	1	22	+21 (-)	
	修正	▲ 3	▲ 3	+0	▲ 7	▲ 2	+5	
	計	13	23	+10 (+73.4%)	12	50	+38 (+305.8%)	



本セグメントでは、日米欧3拠点のグローバルオペレーションの規模が大きく、実態を正しく表すために、内部売上高の消去を外枠で記載しています。

2Q(7~9月) 増収増益

第1四半期に引き続き、各用途とも堅調に推移。販売価格の値戻しもほぼ浸透。

2Q累計 (4~9月)

増収増益

円高や原料高騰の影響はあるものの、航空機需要の回復、圧縮天然ガスタンク等環境・エネルギー関連需要の拡大が進む中で、各用途への拡販を進め、販売量が増加。また、スポーツ用途、一般産業用途の汎用品を中心に、販売価格の値戻しを実施。

炭素繊維複合材料セグメントの売上高の詳細

【サブセグメント別売上高推移】

単位：億円

	1 1 / 3 期第 2 四半期 (7 ~ 9 月)		1 2 / 3 期第 2 四半期 (7 ~ 9 月)		
	売上高	比率	売上高	比率	増減率
航空宇宙	66	41%	62	36%	-7%
スポーツ	35	22%	33	19%	-4%
一般産業	61	38%	78	45%	+28%
炭素繊維計	162		173		+7%

	1 1 / 3 期第 2 四半期累計 (4 ~ 9 月)		1 2 / 3 期第 2 四半期累計 (4 ~ 9 月)		
	売上高	比率	売上高	比率	増減率
航空宇宙	125	39%	131	36%	+5%
スポーツ	67	21%	73	20%	+9%
一般産業	126	40%	159	44%	+25%
炭素繊維計	319		363		+14%

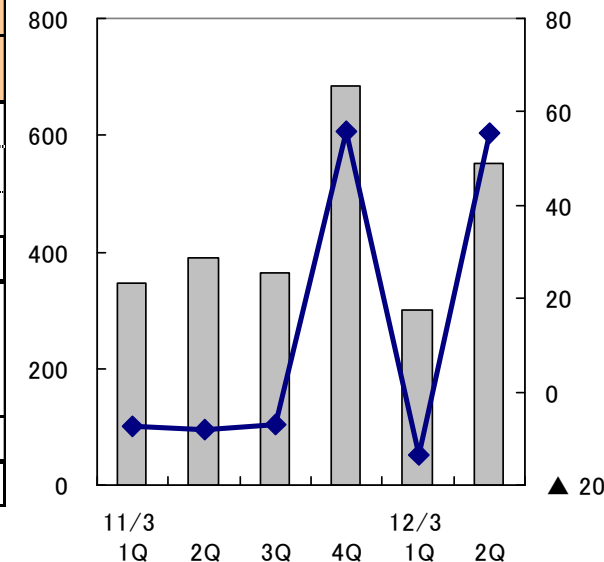
セグメント別業績(環境・エンジニアリング)

売上高
＜棒グラフ＞

営業利益
＜線グラフ＞
(億円)

単位: 億円

		2Q(7~9月)			2Q累計(4~9月)		
		11年 3月期	12年 3月期	増減	11年 3月期	12年 3月期	増減
売上高	東レ	30	18	-12 (-40.4%)	55	32	-23 (-41.9%)
	国内	349	522	+172 (+49.3%)	660	796	+137 (+20.7%)
	海外	10	12	+2 (+25.0%)	20	25	+5 (+24.3%)
	計	389	551	+163 (+41.8%)	735	853	+118 (+16.1%)
営業損益	東レ	▲ 10	▲ 10	+0 (-)	▲ 17	▲ 17	-0 (-)
	国内	2	46	+44 (-)	1	41	+39 (-)
	海外	0	▲ 1	-1 (-)	▲ 0	▲ 2	-2 (-)
	修正	▲ 0	21	+21	1	20	+20
	計	▲ 8	56	+64 (-)	▲ 15	42	+57 (-)



2Q(7~9月) 増収増益

東レ : 水処理膜事業は、前年同期にあった大型案件の出荷がなく、円高の影響もあり、減収。

国内子会社 : 建設・不動産子会社は拡販を進め、水処理エンジニアリング子会社も、大型プラントの工事が順調に進捗する等、両社とも一部下期分を前倒しで売上計上。

海外子会社 : 中国子会社が、逆浸透膜の販売量を伸ばした。

2Q累計 (4~9月)

増収増益

水処理膜事業においては、前年同期にあった大型案件の出荷がなく減収となったが、逆浸透膜をはじめ各種水処理膜の受注活動を世界各地で推進。国内子会社では、水処理エンジニアリング子会社の大型案件が進捗し、建設・不動産子会社の販売も拡大。

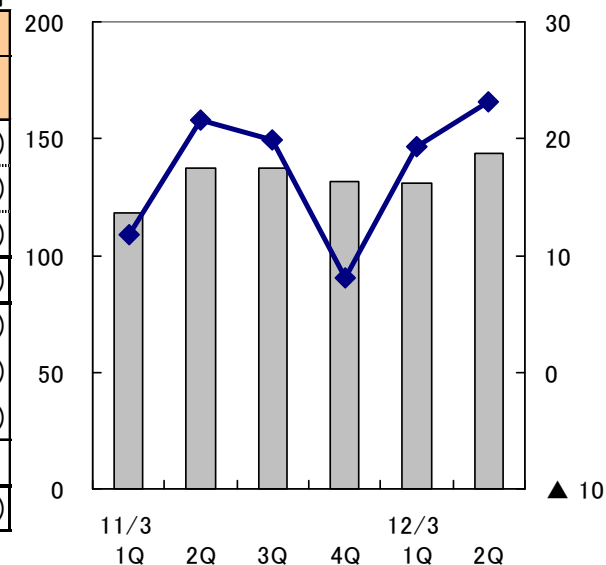
セグメント別業績(ライフサイエンス)

売上高
＜棒グラフ＞

営業利益
＜線グラフ＞
(億円)

単位:億円

		2Q(7~9月)			2Q累計(4~9月)		
		11年 3月期	12年 3月期	増減	11年 3月期	12年 3月期	増減
売上高	東レ	38	44	+7 (+18.0%)	67	87	+20 (+29.9%)
	国内	97	96	-1 (-1.4%)	182	181	-2 (-1.0%)
	海外	3	4	+1 (+46.5%)	6	8	+2 (+31.5%)
	計	137	144	+7 (+4.9%)	255	275	+20 (+7.8%)
営業利益	東レ	16	18	+2 (+10.3%)	25	35	+10 (+38.1%)
	国内	4	6	+1 (+34.3%)	6	7	+1 (+16.9%)
	海外	0	0	- (-)	0	0	-0 (-16.7%)
	修正	1	▲ 1	-2	2	0	-1
	計	22	23	+2 (+6.9%)	33	42	+9 (+27.3%)



2Q(7~9月) 増収増益

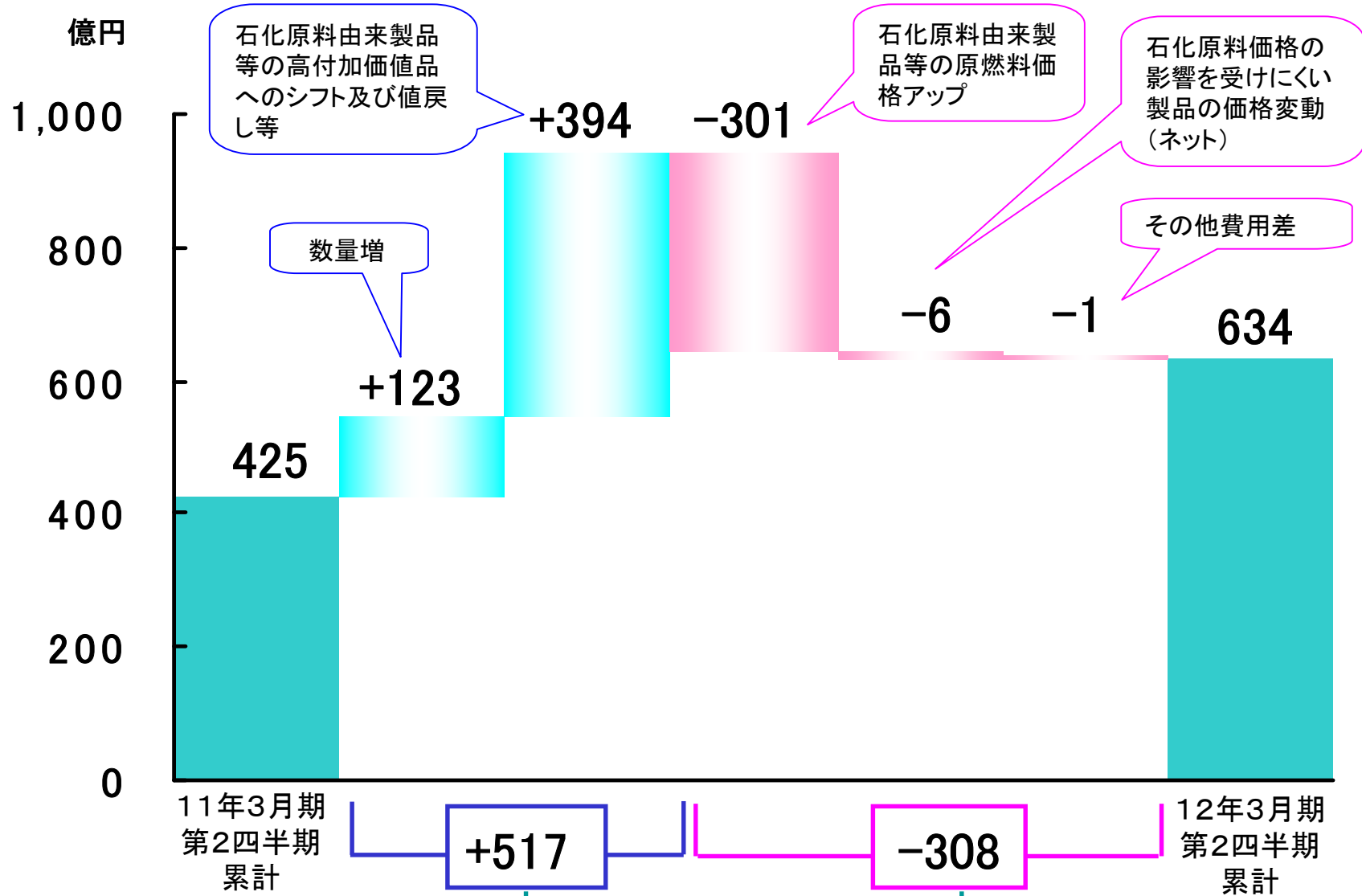
血液透析患者における経口そう痒症改善剤“レミッチ®”*、エンドトキシン除去向け吸着型血液浄化用浄化器“トレミキシン®”の出荷が堅調に推移。

2Q累計 (4~9月) 増収増益

血液透析患者における経口そう痒症改善剤“レミッチ®”*をはじめとする医薬品の拡販に加え、エンドトキシン除去向け吸着型血液浄化用浄化器“トレミキシン®”の販売が拡大。

* “レミッチ®”は鳥居薬品株式会社の登録商標です。

営業利益増減要因分析(第2四半期累計期間)



石化原料由来製品等とは、繊維、プラスチック・ケミカル、炭素繊維複合材料セグメントの合計値。

主要子会社収益状況(第2四半期累計期間)

億円

	売上高			営業利益		
	11年3月期 第2四半期累計 実績(4~9月)	12年3月期 第2四半期累計 実績(4~9月)	増減	11年3月期 第2四半期累計 実績(4~9月)	12年3月期 第2四半期累計 実績(4~9月)	増減
東レインターナショナル	2,001	2,286	+284	26	39	+13
東レエンジニアリング	346	393	+47	12	16	+4
東レ建設	130	309	+179	▲6	29	+36
東レフィルム加工	283	247	-36	22	18	-4
東レ・メディカル	184	182	-2	6	7	+1
TAK(韓国)	445	487	+42	68	83	+15
TPM(マレーシア)	328	318	-10	12	5	-7
在東南アジア・子会社 *1						
繊維	446	520	+74	15	48	+33
プラスチック・ケミカル	380	384	+4	23	24	+1
その他	38	33	-5	2	2	+1
計	864	937	+73	40	74	+34
在中国・子会社 *2						
繊維	464	615	+151	25	45	+20
プラスチック・ケミカル	226	277	+51	6	5	-1
その他	55	51	-4	2	0	-1
計	745	943	+198	33	51	+18
在外・フィルム子会社 *3						
プラスチック・ケミカル	382	452	+70	31	70	+39
情報通信材料・機器	240	252	+12	41	45	+3
計	622	704	+82	72	115	+43

* 1:ITS、ETX、ISTEM、ACTEM、CENTEX、PFR、PAB-G、TTS、LTX、TTTM、TPM 単純合計

* 2:TFNL、TSD、TJQ、TPN、TCH、TSL、THK-G、TPCH-G、RKH/RKZ、TFH/TFZ、TBMC 単純合計

* 3:TAK、PFR、TPA、TFE、TFH/TFZ、TAFK 単純合計

セグメント別営業利益 1Qvs2Q比較

億円

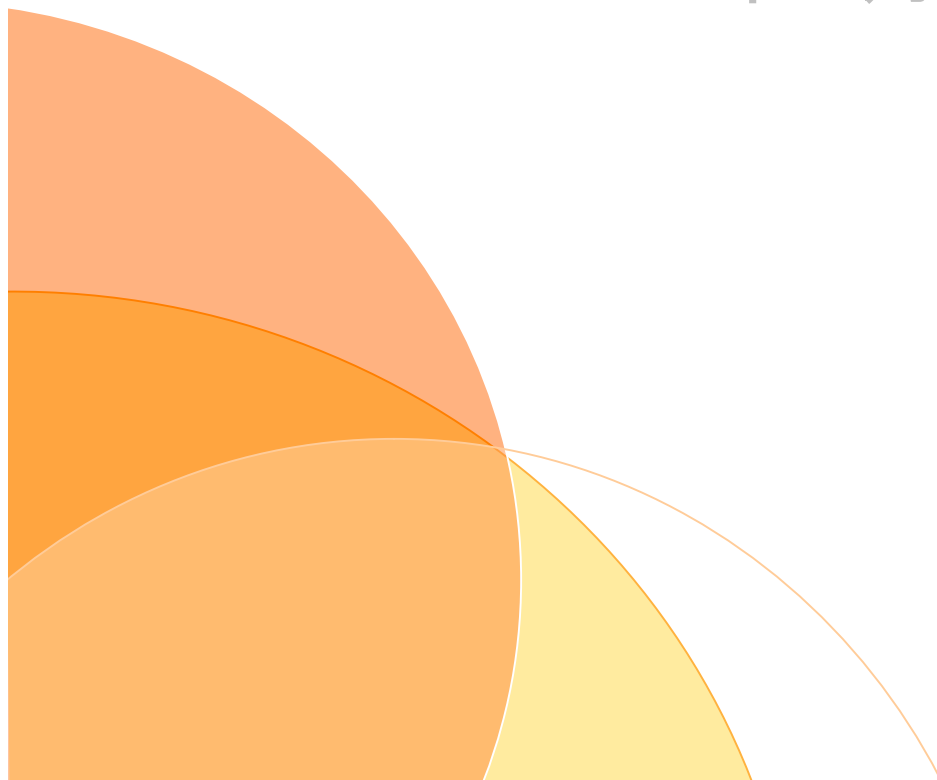
セグメント	営業利益 12年3月期1Q→ 12年3月期2Q ()内差異	増減益要因
繊維	102→126 (+24)	<ul style="list-style-type: none"> 機能性インナーウェア等の縫製品の出荷増。 中国の長繊維織物子会社はシーズンイン。
プラスチック ・ケミカル	86→78 (-9)	<ul style="list-style-type: none"> 自動車関連の樹脂の需要は回復したものの、国内子会社では、1Qにあった夏期節電対策の前倒し受注の反動があった。 海外では、中国を中心としてABS樹脂需要が低迷。フィルム子会社もアジア・欧州で競争激化による販売価格軟化の影響が出始めた。
情報通信材料 ・機器	95→103 (+8)	<ul style="list-style-type: none"> 東レ単体は、スマートフォン関連材料が堅調に推移したことに加え、2Qには技術料収入を計上。 海外子会社は、韓国フィルム子会社が光学用PETフィルムの新ラインの稼働が3月から開始し、拡販を推進。
炭素繊維 複合材料	27→23 (-4)	<ul style="list-style-type: none"> アジアのスポーツ用途がシーズン・オフになるとともに、一部顧客で在庫調整の動き。 東レ単体を中心に、各用途での新製品開発のための試作費用等が増加。
環境・エンジニアリング	▲14→56 (+69)	<ul style="list-style-type: none"> 建設子会社のマンション販売が増加。 水処理エンジニアリング子会社も大型プラント工事が順調に進捗。
ライフサイエンス	19→23 (+4)	<ul style="list-style-type: none"> 国内子会社のダイアライザー事業で、1Qに一部あった震災による需要減退の影響が解消し、販売数量が増加。
その他	1→4 (+2)	<ul style="list-style-type: none"> 研究受託サービス子会社が拡販を推進。
調整額	▲44→▲50 (-6)	
連結	273→362 (+89)	

セグメント別上期営業利益 前回見通しvs実績比較

億円

セグメント	上期営業利益 前回見通し→実績 ()内差異	増減益要因
繊維	210→227 (+17)	・機能性インナーウェア等の出荷が堅調に推移。
プラスチック ・ケミカル	160→164 (+4)	・ほぼ見通しどおり。
情報通信材料 ・機器	200→197 (-3)	・ほぼ見通しどおり。
炭素繊維 複合材料	50→50 (+0)	・ほぼ見通しどおり。
環境・エンジニアリング	30→42 (+12)	・建設子会社のマンション販売が好調に推移。 ・水処理エンジニアリング子会社は大型プラント工事が順調に進捗。
ライフサイエンス	40→42 (+2)	・ほぼ見通しどおり。
その他	5→5 (-0)	・ほぼ見通しどおり。
調整額	▲95→▲94 (+1)	(注) 前回見通しとは2012年3月期第1四半期 決算発表時(8月4日)の見通しです。
連結	600→634 (+34)	全社レベルで、トータルコスト競争力強化(TC-Ⅱ)プロジェクトを推進

Ⅱ. 2012年3月期連結業績見通し



2012年3月期連結業績見通し

億円

		11年3月期 実績	12年3月期 今回見通し	対前年同期比 増減	前回見通し	前回見通し との差異
売上高	上期	7,334	7,998	+664 (+9.1%)	8,000	-2
	下期(逆算)	8,063	8,702	+639 (+7.9%)	8,700	+2
	通期	15,397	16,700	+1,303 (+8.5%)	16,700	—
営業利益	上期	425	634	+209 (+49.1%)	600	+34
	下期(逆算)	576	566	-10 (-1.7%)	600	-34
	通期	1,001	1,200	+199 (+19.9%)	1,200	—
経常利益	上期	405	655	+250 (+61.9%)	620	+35
	下期(逆算)	584	545	-39 (-6.7%)	580	-35
	通期	989	1,200	+211 (+21.3%)	1,200	—
当期純利益	上期	249	401	+152 (+60.9%)	390	+11
	下期(逆算)	330	339	+9 (+2.7%)	350	-11
	通期	579	740	+161 (+27.8%)	740	—

1株当たり 当期純利益	上期	16.0円	24.6円
	下期	20.3円	20.8円
	通期	36.4円	45.4円
1株当たり 配当金	上期	2.5円	5.0円
	下期	5.0円	5.0円
	通期	7.5円	10.0円

備考：為替レート的前提は、77円/US\$（10月以降）
原油価格見通しは、100US\$/B
（DUBAI FOB）（10月以降）

セグメント別業績見通し (売上高/営業利益)

億円

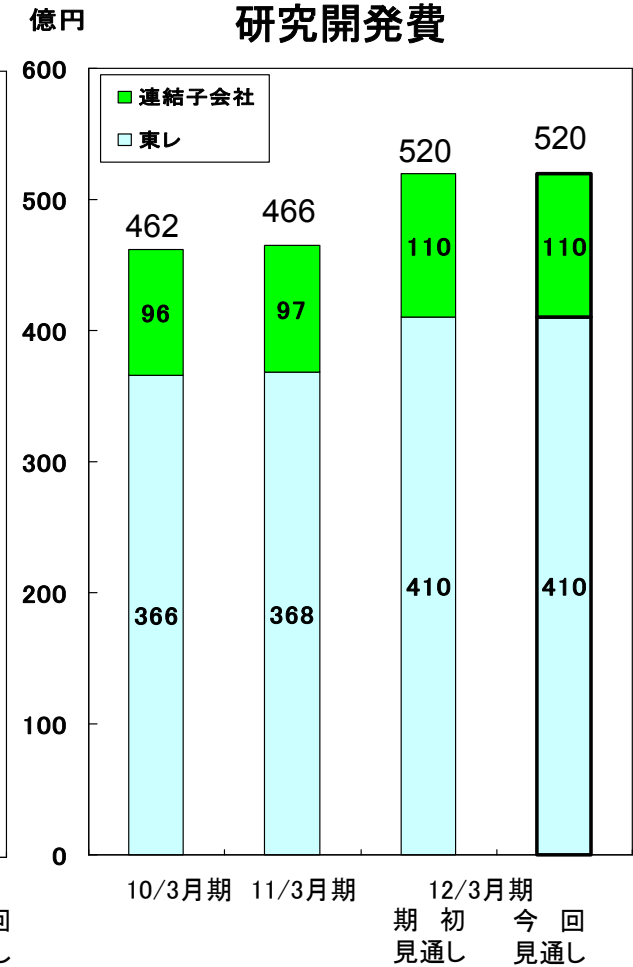
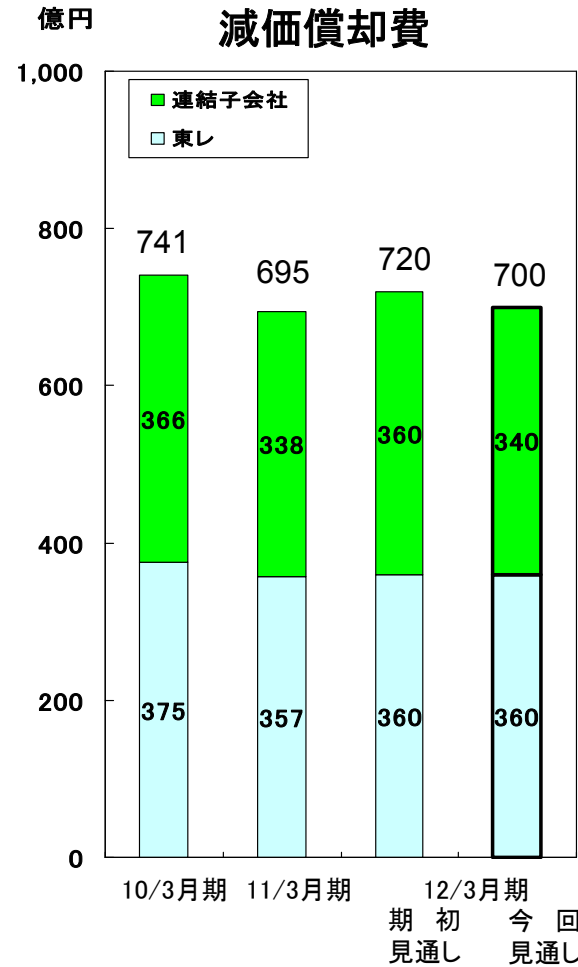
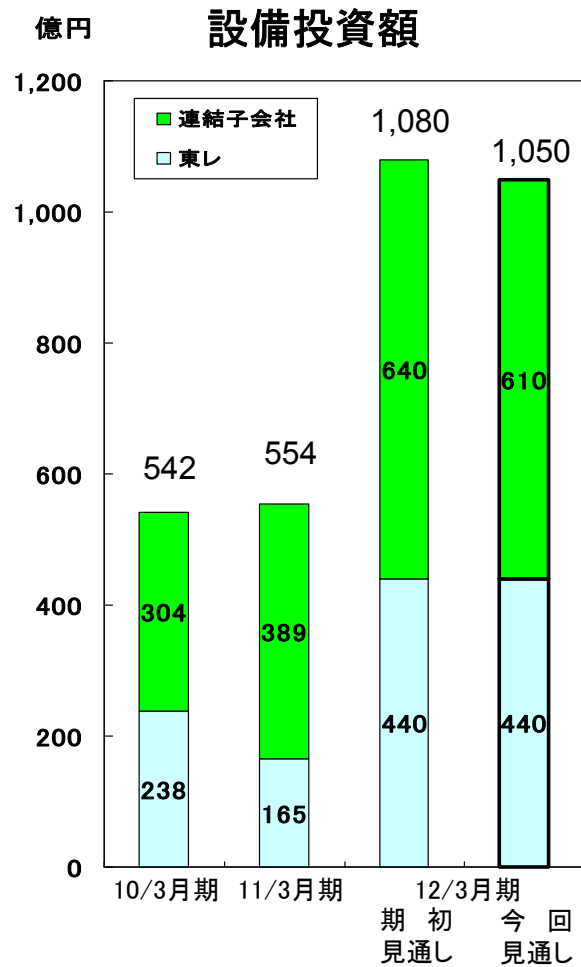
	11年3月期			12年3月期			対前年同期比 増減			前回見通し との差異			
	上期 実績	下期 実績	通期 実績	上期 実績	下期 (逆算)	通期 見通し	上期 実績	下期 (逆算)	通期 見通し	上期 実績	下期 (逆算)	通期 見通し	
売上高	繊維	2,731	3,111	5,841	3,075	3,325	6,400	+344	+215	+559	+75	+125	+200
	プラスチック・ケミカル	1,865	1,958	3,823	2,065	2,235	4,300	+199	+278	+477	-35	-65	-100
	情報通信材料・機器	1,362	1,259	2,620	1,300	1,300	2,600	-61	+41	-20	+0	-100	-100
	炭素繊維複合材料	319	351	670	363	437	800	+45	+85	+130	-37	+37	-
	環境・エンジニアリング	735	1,047	1,782	853	1,047	1,900	+118	+0	+118	+3	-3	-
	ライフサイエンス	255	269	524	275	275	550	+20	+6	+26	+5	-5	-
	その他	68	69	136	67	83	150	-1	+15	+14	-13	+13	-
	連結	7,334	8,063	15,397	7,998	8,702	16,700	+664	+639	+1,303	-2	+2	-
営業利益	繊維	136	189	324	227	223	450	+92	+34	+126	+17	+3	+20
	プラスチック・ケミカル	121	150	271	164	146	310	+43	-5	+39	+4	-4	-
	情報通信材料・機器	213	209	422	197	183	380	-16	-27	-42	-3	-27	-30
	炭素繊維複合材料	12	20	33	50	50	100	+38	+29	+67	+0	-0	-
	環境・エンジニアリング	▲ 15	49	33	42	38	80	+57	-11	+47	+12	-12	-
	ライフサイエンス	33	28	61	42	18	60	+9	-10	-1	+2	-2	-
	その他	4	6	10	5	5	10	+1	-1	-0	-0	+0	-
	調整額	▲ 78	▲ 77	▲ 155	▲ 94	▲ 96	▲ 190	-16	-19	-35	+1	+9	+10
連結	425	576	1,001	634	566	1,200	+209	-10	+199	+34	-34	-	

セグメント別営業利益の前回見通しとの差異

億円

セグメント	通期営業利益 前回見通し→ 今回見通し ()内差異	増減益要因
繊維	430→450 (+20)	・機能性インナーウェア等の縫製品の出荷増を見込む。
プラスチック ・ケミカル	310→310 (-)	・前回見通し通り。
情報通信材料 ・機器	410→380 (-30)	・FPD関連需要の回復遅れを見込む。
炭素繊維 複合材料	100→100 (-)	・前回見通し通り。
環境・エンジニアリング	80→80 (-)	・前回見通し通り。
ライフサイエンス	60→60 (-)	・前回見通し通り。
その他	10→10 (-)	・前回見通し通り。
調整額	▲200→▲190 (+10)	
連結	1,200→1,200 (-)	

設備投資額・減価償却費・研究開発費見通し



本資料中の2012年3月期の業績見通し及び事業計画についての記述は、現時点における将来の経済環境予想等の仮定に基づいています。

本資料において当社の将来の業績を保証するものではありません。